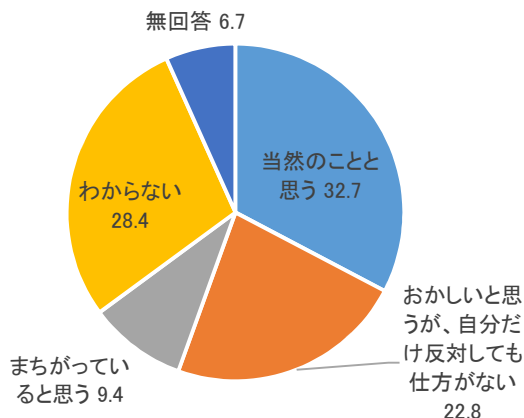


調査の結果

I 日常生活の中の風習について

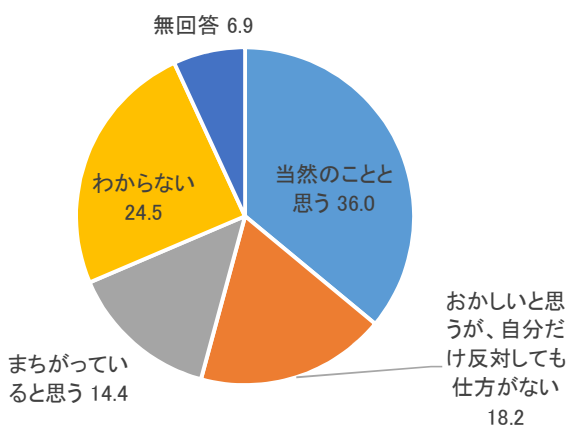
質問 1 日本にはいろいろな風習がありますが、以下のことについて、あなたはどのように思いますか。

(ア)「友引」の日に、お葬式をしてはいけないという風習は(○は1つ)



■「当然のことと思う」「自分だけ反対しても仕方がない」と答えた人は55.5%で、前回調査(62.8%)と比べて減少しているものの、「まちがっていると思う」の9.4%を大きく上回っています。依然として人々の意識に深く浸透し、生活にも関係していることが読み取れます。

(ウ)結婚式は「大安」の日が一番よいという風習は(○は1つ)



■「当然のことと思う」と答えた人は36.0%、また「まちがっていると思う」という人は14.4%で、前回調査(41.0%、17.5%)からそれぞれ減少しています。これに対して、「わからない」と答えた人が24.5%で、前回調査(17.8%)から増加しています。

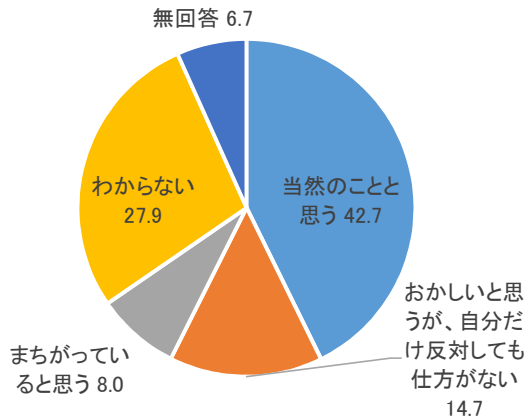
(資料)

友引、大安などの六曜(ろくよう)は、古代中国にあった「小六壬(しょうろくじん)」という迷信をもとに日本で考えられたものです。鎌倉時代の末期に伝わり、江戸時代に広まりました。明治政府は「六曜は根拠のない、全くの迷信、妄想であり、正しい知識の開発を妨げるものであり、これにとらわれることがないように」との通知をだしています。中国では六曜が「深い意味もない、人を迷わすだけのもの」という理由で、早くから否定されていますが、日本では、今もとり入れている暦があります。

I 日常生活の中の風習について

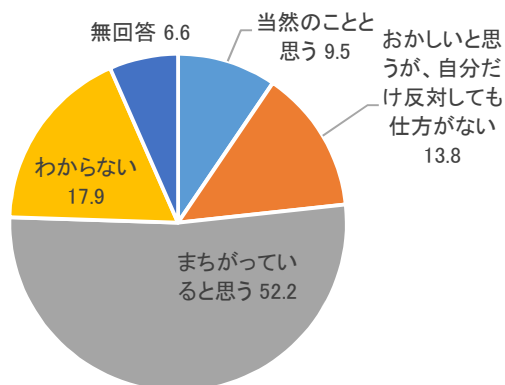
質問 1 日本にはいろいろな風習がありますが、以下のことについて、あなたはどのように思いますか。

(イ) 家を建てる時などに、方角がよいとかよくないとかいう風習は(○は1つ)



■「当然のことと思う」と答えた人は42.7%で、「まちがっていると思う」と答えた人は8.0%と、いずれも前回調査（48.0%、11.3%）より減少してはいますが、風水などの考えを参考にして、行動をとる人が、依然として多いことがわかります。

(エ) 結婚相手を決めるときに、家柄を問題にする風習は(○は1つ)

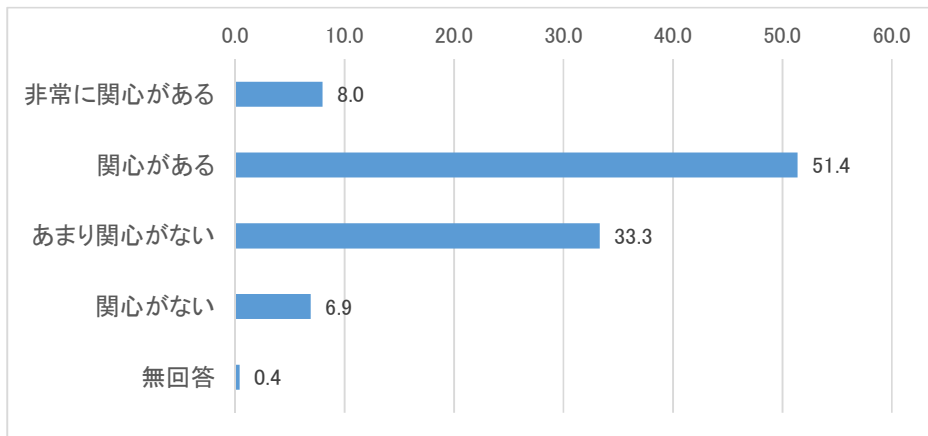


■「まちがっていると思う」と答えた人は52.2%で、前回調査（55.2%）より3%減少しています。また、「当然のことと思う」と考える人も9.5%と、前回調査（12.1%）より2.6%減少していますが、結婚に際して家柄をまだ問題にされていることがわかります。

そのことが結婚差別につながることもあります。

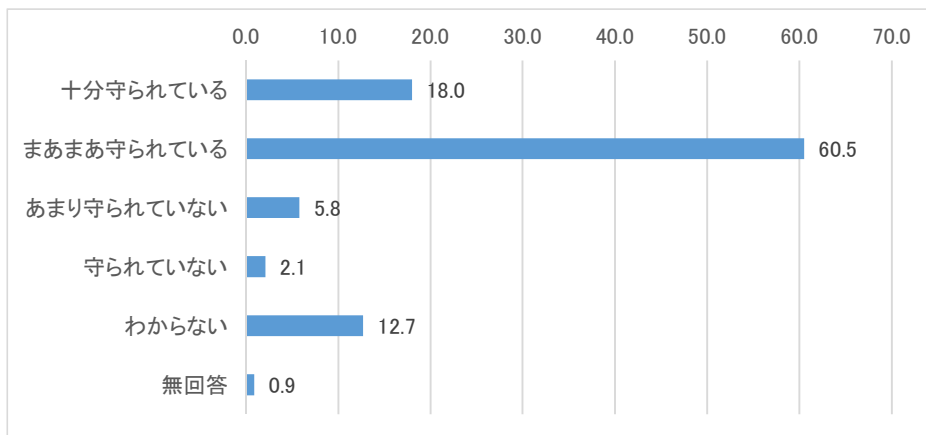
Ⅱ 人権問題について

質問 2 人権とは、人が生まれながらにして持っている権利です。あなたは、人権問題に関心を持っていますか。(○は1つ)



■人権問題に関して「非常に興味がある」「興味がある」と答えた人の合計は、59.4%で、前回調査(56.2%)よりも増加していますが、「あまり興味がない」「興味がない」と答えた人が4割もいます。人権は私たち一人ひとりの大切な権利であるわけですが、自分の問題としてとらえられていないという現実があります。

質問 3 あなたは、今、自分の人権が守られていると思いますか。(○は1つ)

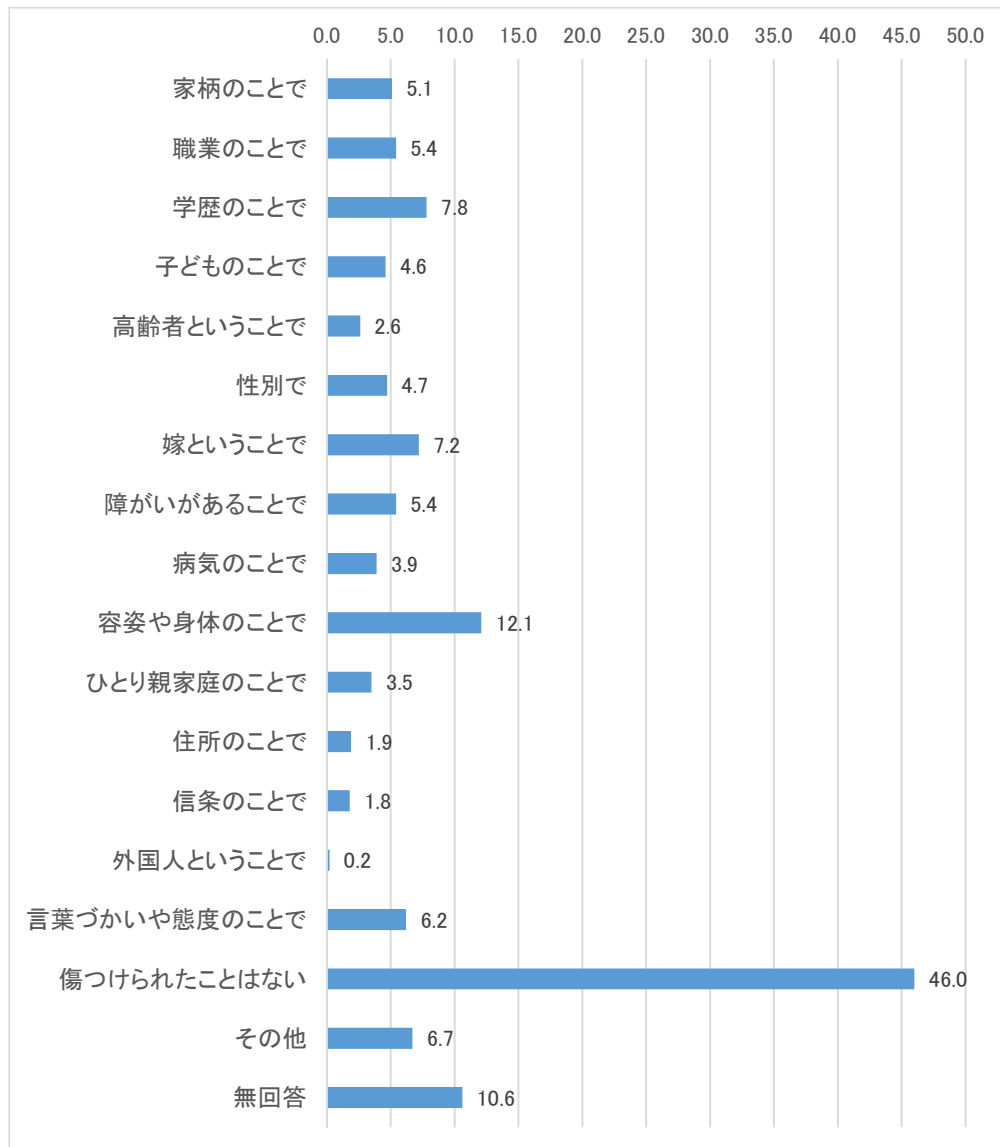


■自分の人権が「十分守られている」「まあまあ守られている」と答えた人は、78.5%で、前回調査(74.4%)よりも増加しています。また、「あまり守られていない」「守られていない」は、合わせて7.9%で、前回調査(10.6%)よりも減少しています。日常生活の中では、自分の人権は守られていると考える人が多数に上ります。



Ⅱ 人権問題について

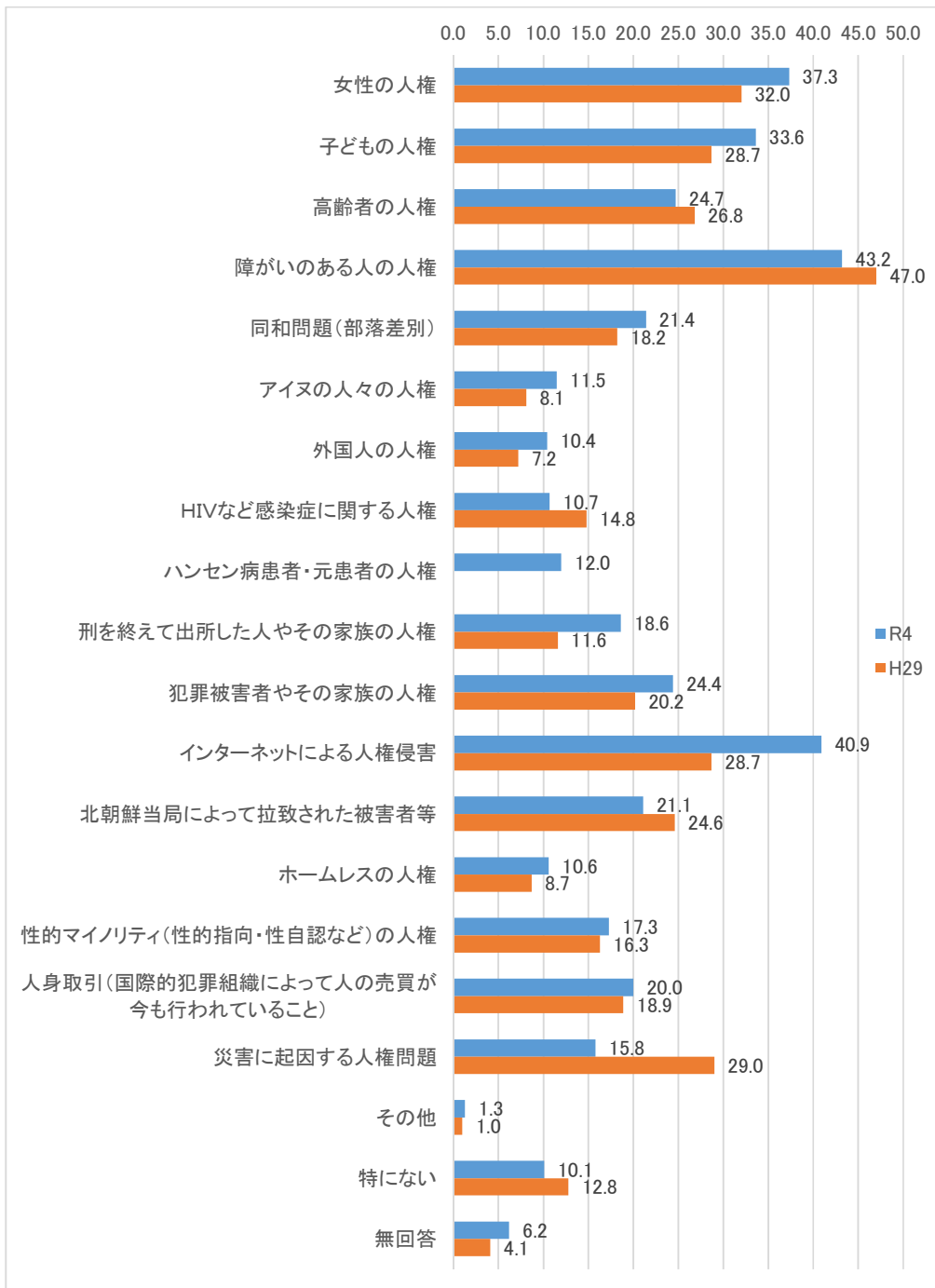
質問 4 あなたや家族の方が、以下の件で人権を侵害されたり傷つけられたことがありますか。
(〇はいくつでも)



■「傷つけられたことはない」と答えた人が46.0%です。あると答えた人は、「容姿や身体」「学歴」「嫁ということで」の順になっています。

Ⅱ 人権問題について

質問 5 日本社会には、人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたが関心のあるもの、重要と思われるものを選んでください。(〇はいくつでも)



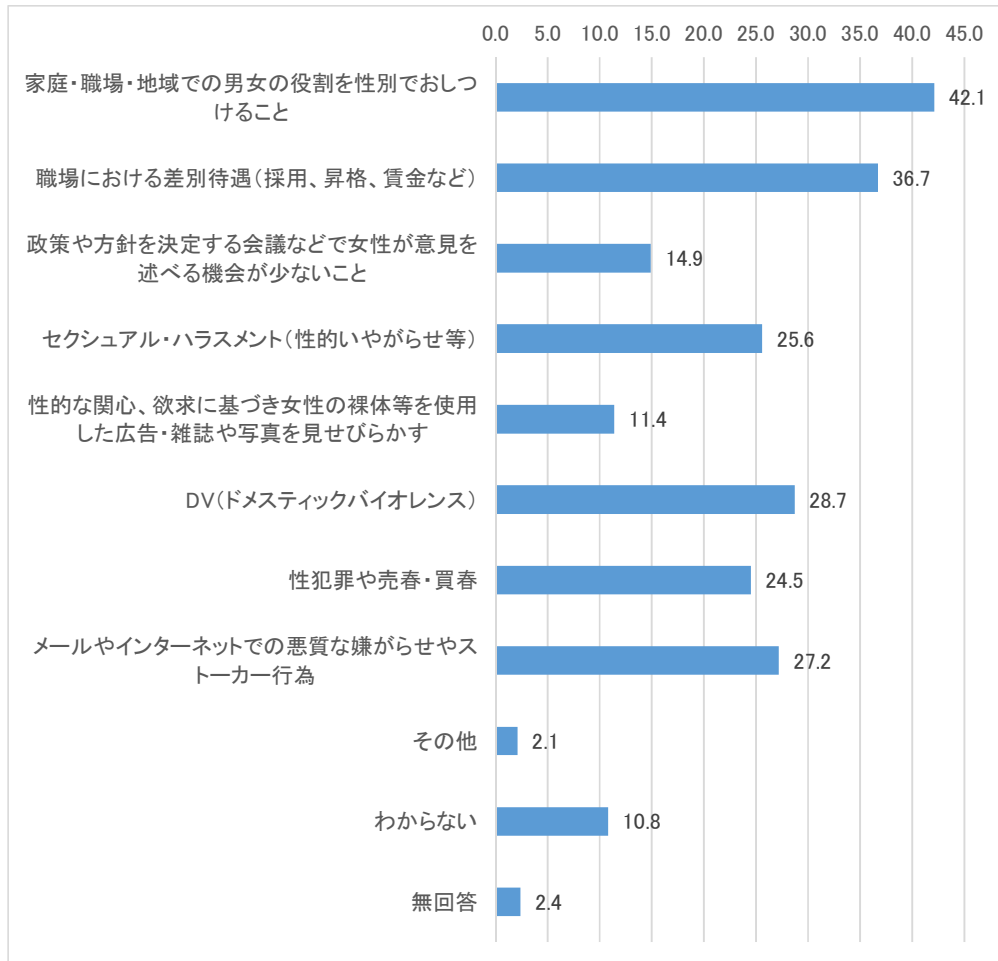
■人権にかかわる問題のうち、「障がいのある人の権利」(43.2%)、「インターネットによる人権侵害」(40.9%)、「女性の権利」(37.3%)、「子どもの権利」(33.6%)の順となっています。「インターネットによる人権侵害」が前回より12.2%増加しています。

Ⅱ 人権問題について

質問 6 あなたは以下の人権問題について、どうお考えですか。

(ア) 女性の人権についておたずねします。

問 あなたは女性に関することがらで、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(○は3つまで)



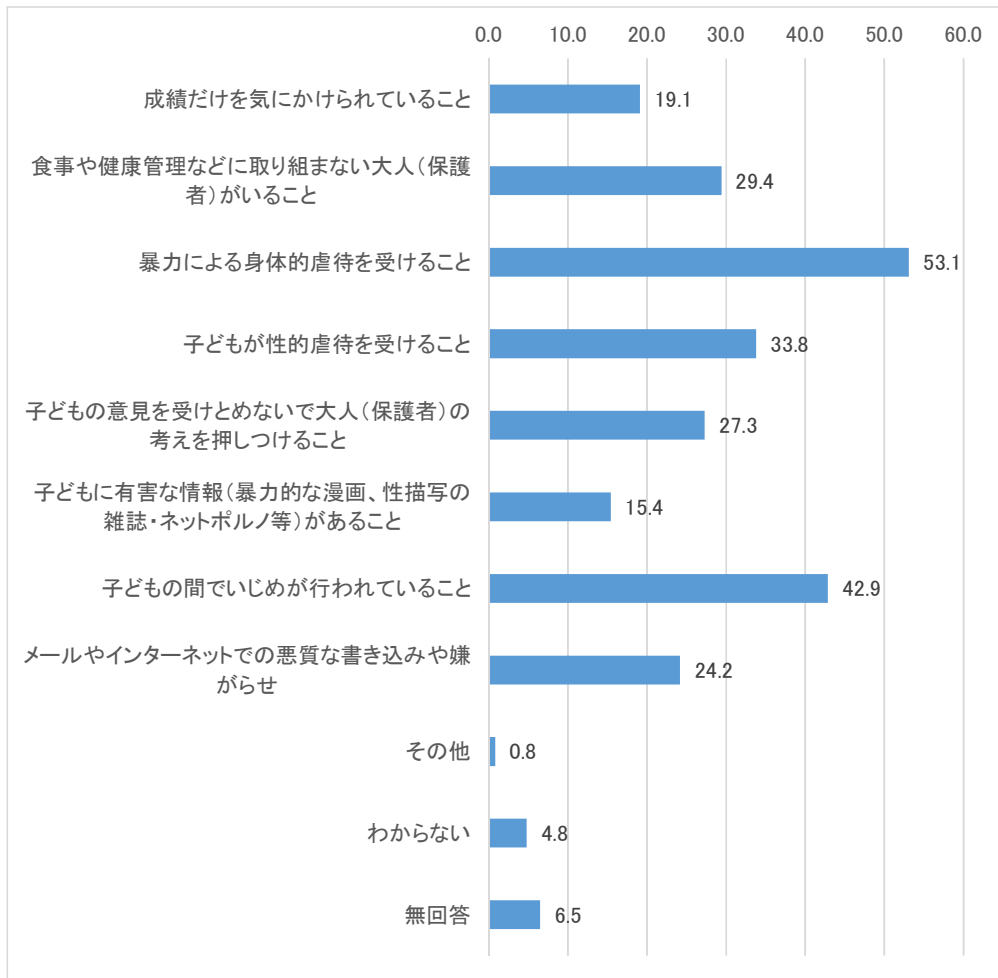
■特に問題があると答えた人が多かったのは「家庭・職場・地域での男女の役割を性別でおしつける」が42.1%で、次いで「職場における差別待遇」が36.7%で、前回調査と同じ順になっています。次いで「DV」が28.7%で、「メールやインターネットでの悪質な嫌がらせやストーカー行為」や「セクシュアル・ハラスメント」、「性犯罪や売春・買春」などについても、問題があると答えた人が多くいます。

Ⅱ 人権問題について

質問 6 あなたは以下の人権問題について、どうお考えですか。

(イ) 子どもの人権についておたずねします。

問 あなたは、子どもに関することからで、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)



■ 「暴力による身体的虐待を受ける」と答えた人が53.1%で最も多く、「子どもが性的虐待を受ける」(33.8%)や「食事や健康管理などに取り組まない大人(保護者)がいる」(29.4%)など、虐待に関する関心が高くなっています。次に「子どもの間でいじめが行われている」と答えた人が42.9%と2番目に多く、いじめについても関心が高いことが分かります。

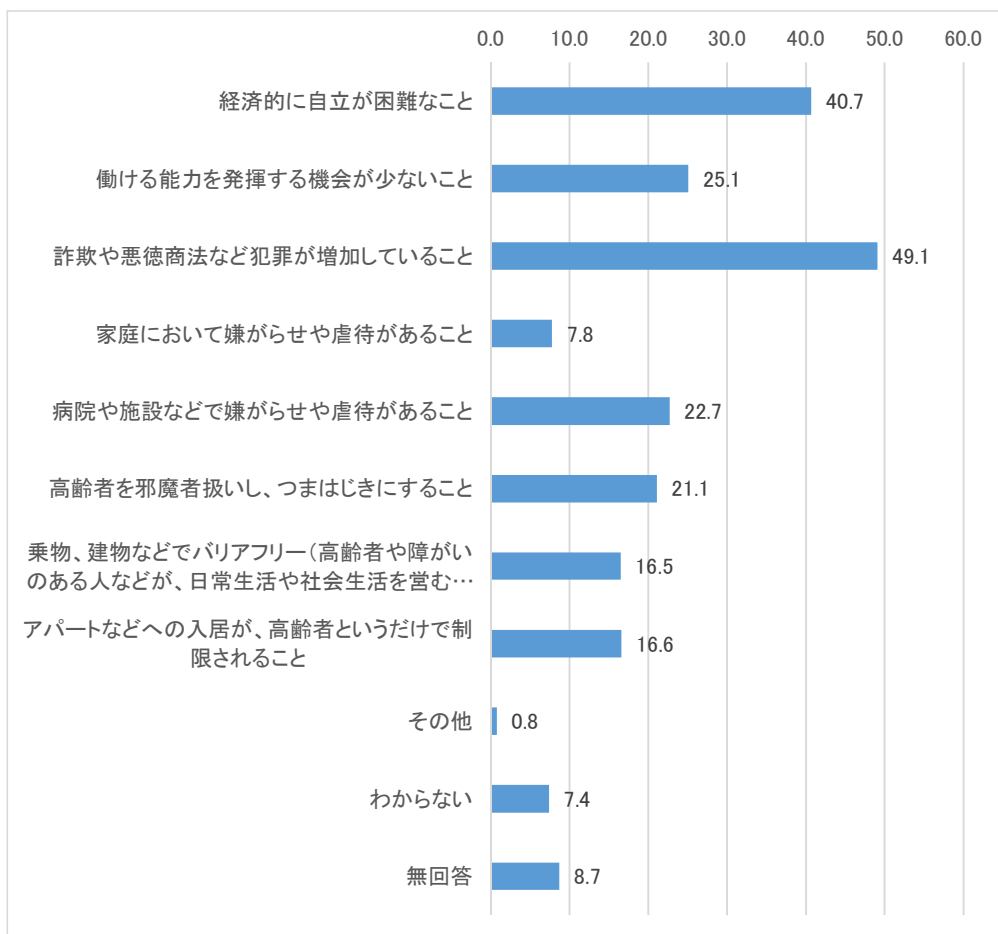


Ⅱ 人権問題について

質問 6 あなたは以下の人権問題について、どうお考えですか。

(ウ) 高齢者の人権についておたずねします。

問 あなたは、高齢者に関することがらで、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)



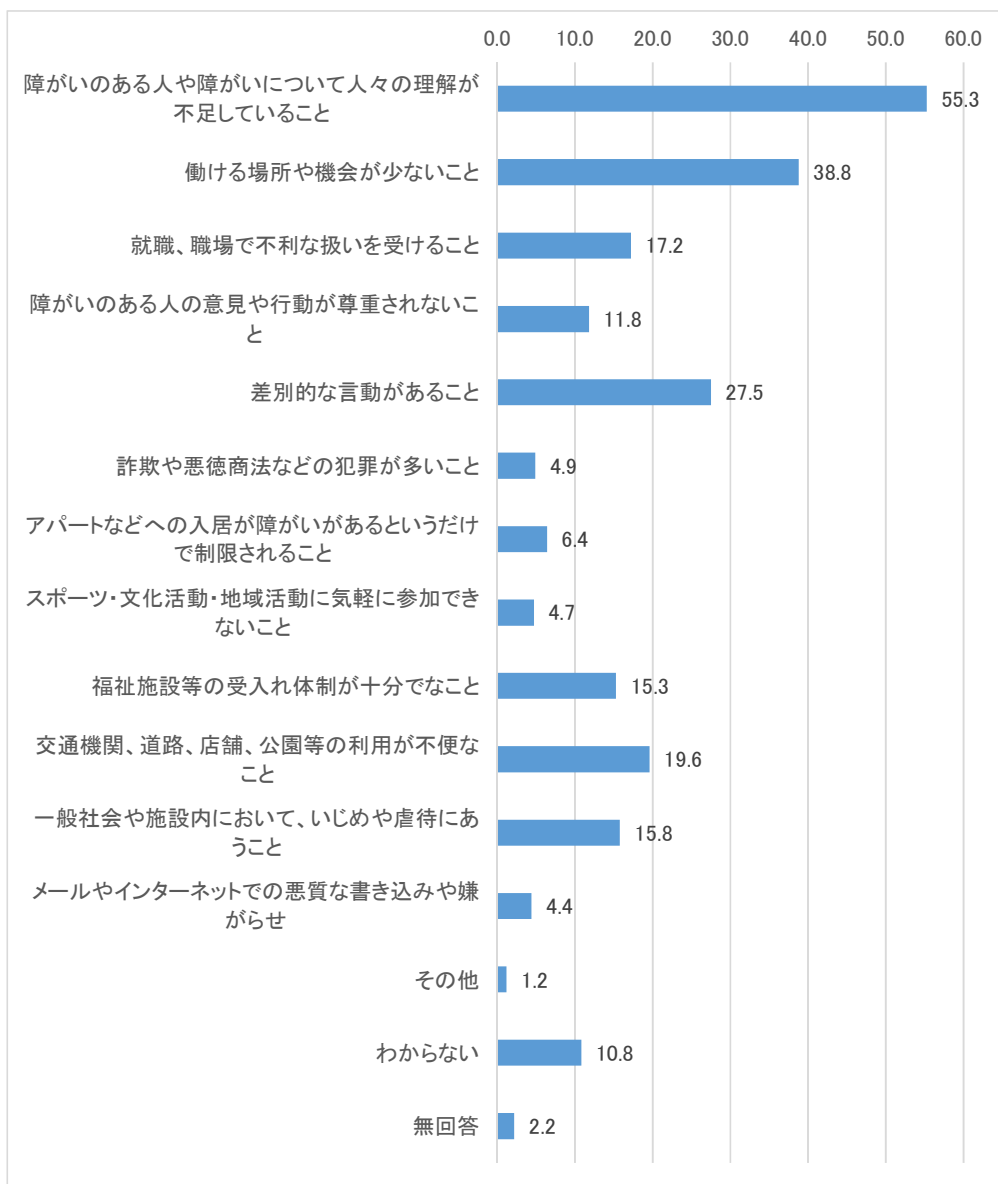
■全体としては前回調査とほぼ同じ傾向を示しています。「詐欺や悪徳商法など犯罪が増加している」が49.1%で、次いで「経済的に自立が困難」が40.7%、「働ける能力を発揮する機会が少ない」が25.1%の順となっています。また、「家庭や病院や施設などでの嫌がらせや虐待がある」、「邪魔者扱いし、つまはじきにする」など、高齢者に対する敬愛や尊敬の気持ちが欠けていると思われる面も少なからず見られます。

Ⅱ 人権問題について

質問 6 あなたは以下の人権問題について、どうお考えですか。

(エ) 障がいのある人の人権についておたずねします。

問 あなたは、障がいのある人に関することから、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)



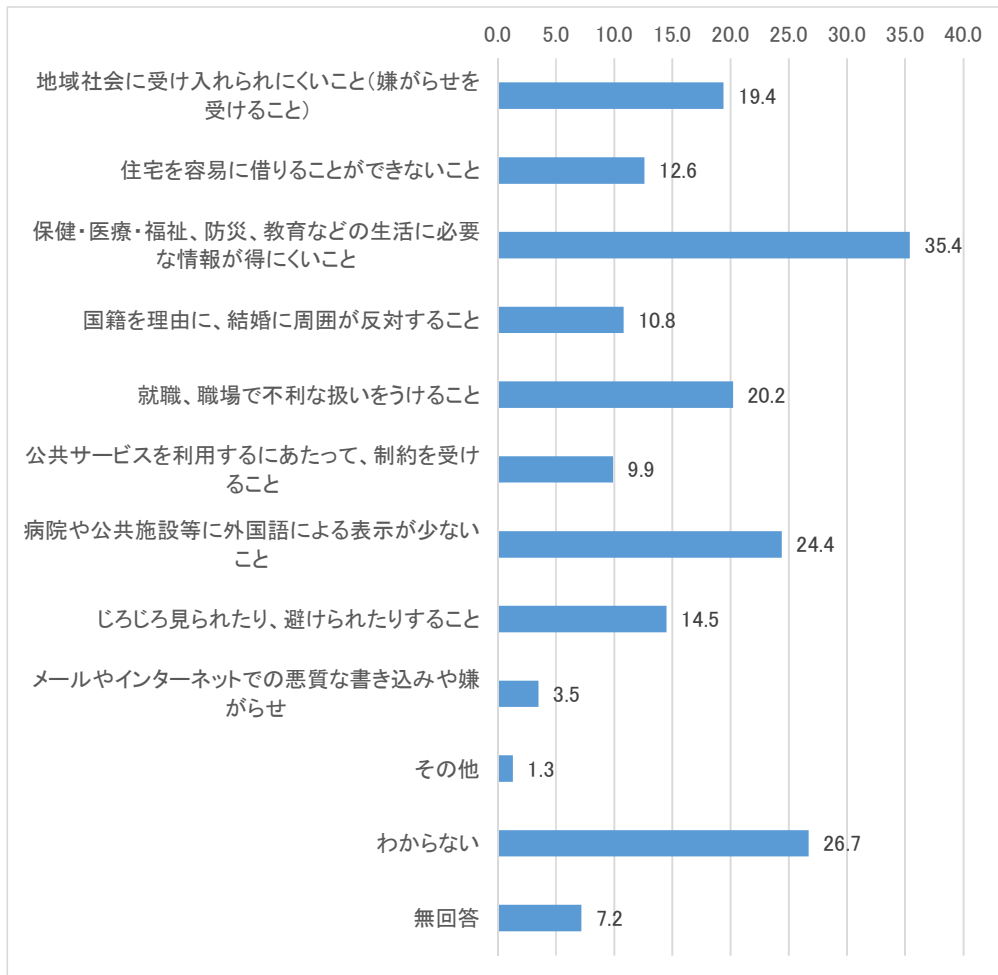
■ 「人々の理解が不足している」が55.3%で最も多く、次いで「働ける場所や機会が少ない」が38.8%、「差別的な言動がある」が27.5%の順となっています。概ね前回調査と同様の結果となっていますが、「一般社会や施設内において、いじめや虐待にあう」が若干増加しています。

Ⅱ 人権問題について

質問 6 あなたは以下の人権問題について、どうお考えですか。

(オ)外国人の人権についておたずねします。

問 あなたは、外国人に関することがらで、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)



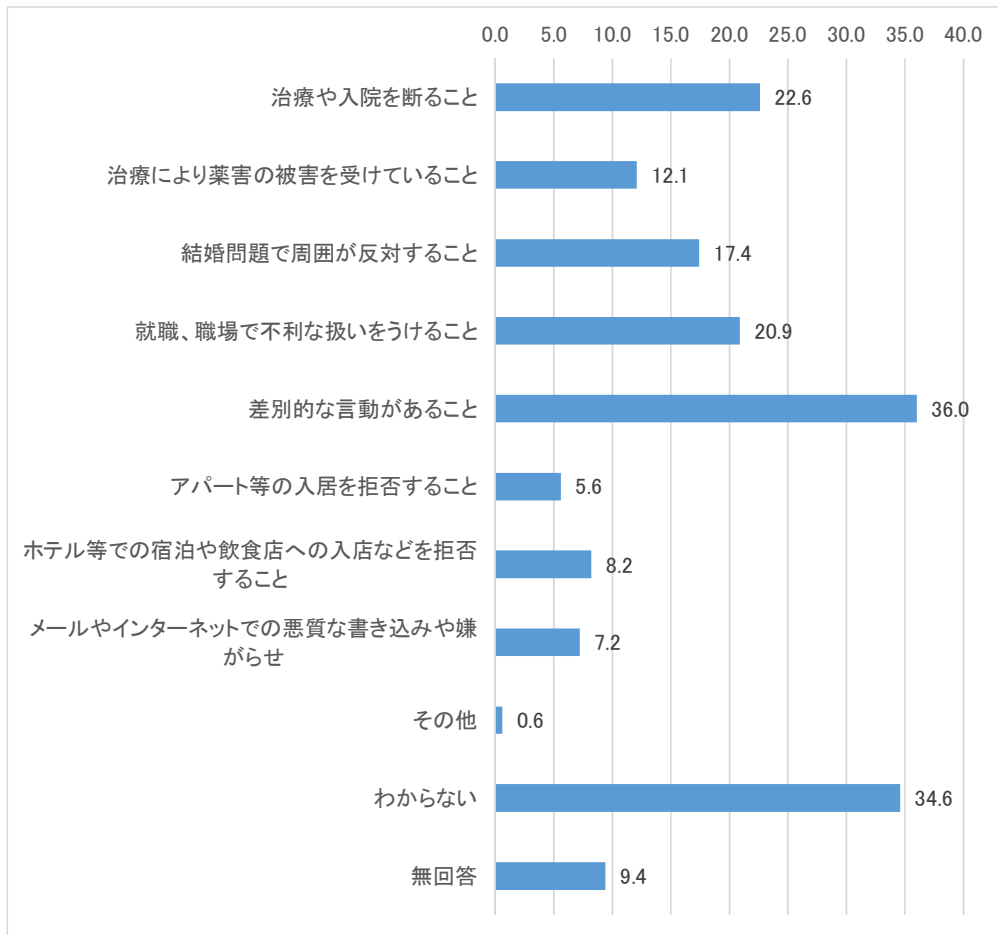
■最も多かったのは「保健・医療・福祉・防災・教育などの日常生活に必要な情報が得にくい」が35.4%で、次いで「病院や公共施設等に外国語による表示が少ない」が24.4%、「就職、職場で不利な扱いをうける」が20.2%の順となっています。「就職、職場で不利な扱いをうける」が前回より7.3%増加して「地域社会に受け入れられにくい」より多くなっています。また、「住居を容易に借りることができない」「じろじろ見られたり、避けられたりする」など、不当な扱いを受けることを挙げている人もいます。

Ⅱ 人権問題について

質問 6 あなたは以下の人権問題について、どうお考えですか。

(カ) HIV感染者・ハンセン病患者、元患者等の人権についておたずねします。

問 あなたは、HIV感染者・ハンセン病患者、元患者等に関することがらで、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)



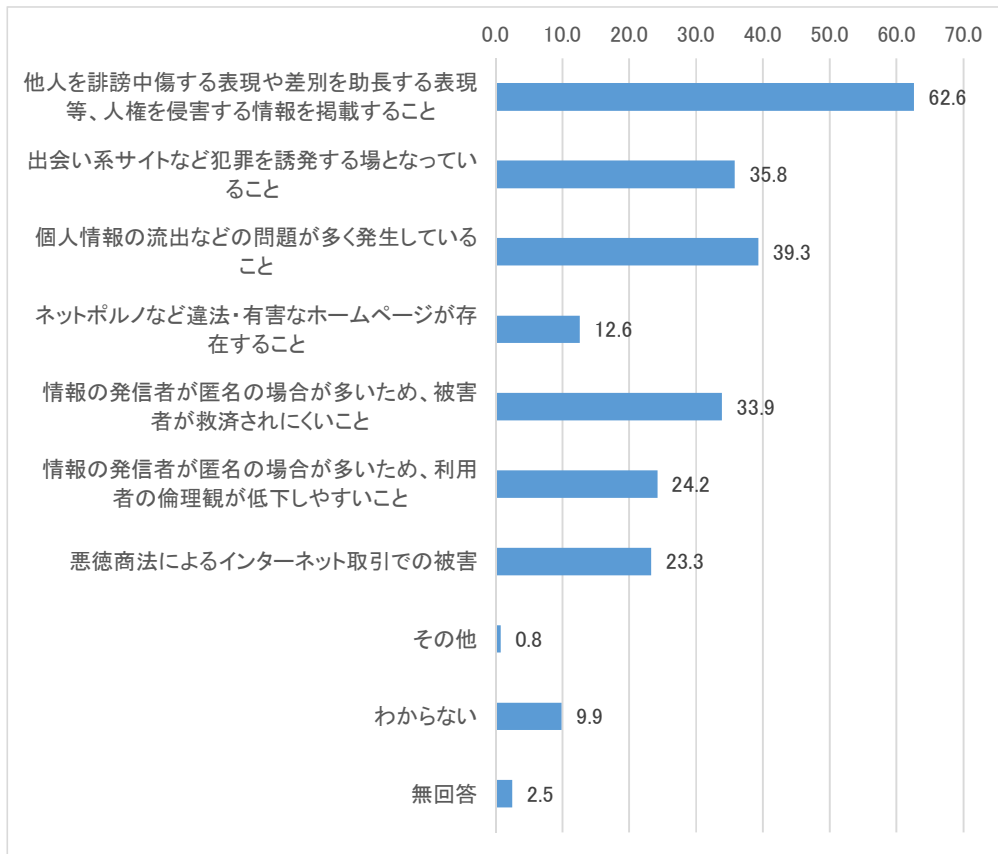
■最も多かったのは「差別的な言動がある」が36.0%、次いで、「治療や入院を断る」が22.6%、「就職、職場で不利な扱いを受ける」が20.9%の順となっています。前回調査と比べると、傾向はほとんど変わりませんが、「ホテル等での宿泊や飲食店への入店拒否する」をあげた人は4.2%減っています。「わからない」と答えた人が34.6%と多く、関心の低さが感じられます。

Ⅱ 人権問題について

質問 6 あなたは以下の人権問題について、どうお考えですか。

(キ) インターネットによる人権侵害の問題についておたずねします。

問 あなたは、インターネットに関することから、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)



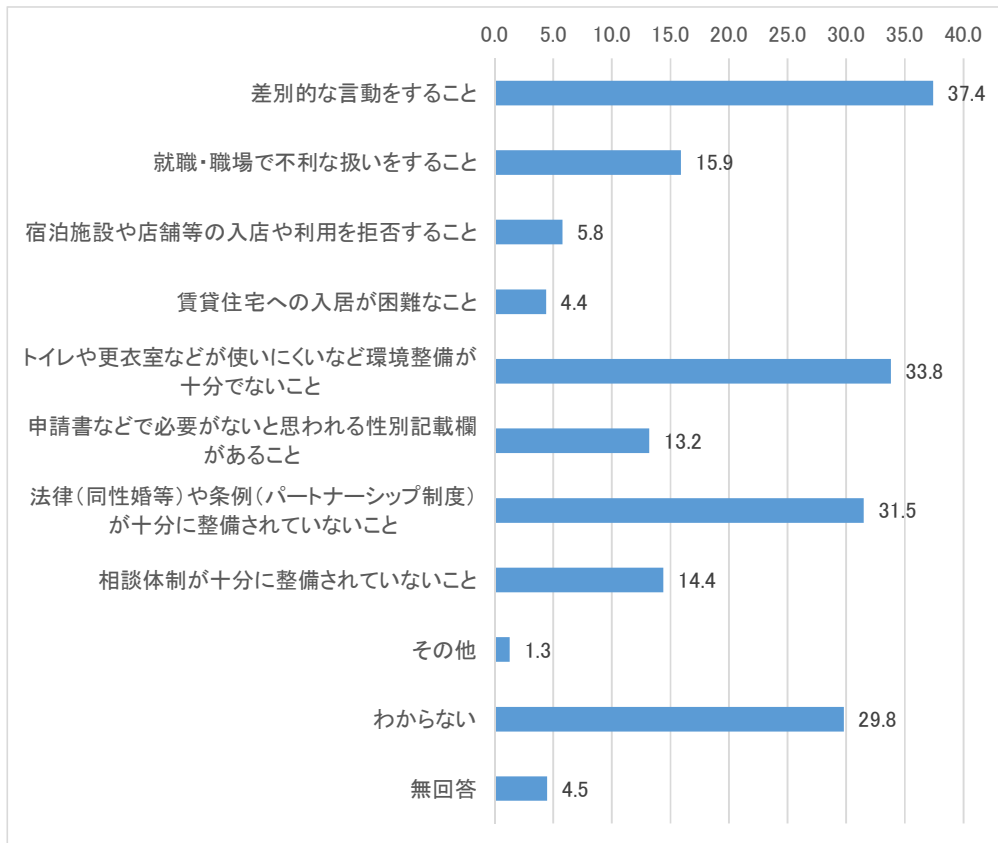
■最も多かったのは「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現等、人権を侵害する情報を掲載する」が62.6%で前回(49.4%)より13.2%も増加しています。次いで「個人情報の流出などの問題が多く発生している」が39.3%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっている」が35.8%の順となっています。書き込みなどによる被害者が救済されにくいことや、利用者の倫理観が低下しやすいこと、また、悪徳商法による取引の被害について問題があると答えた人が多くなっています。

Ⅱ 人権問題について

質問 6 あなたは以下の人権問題について、どうお考えですか。

(ク) LGBT(性的マイノリティ)の人権についておたずねします。

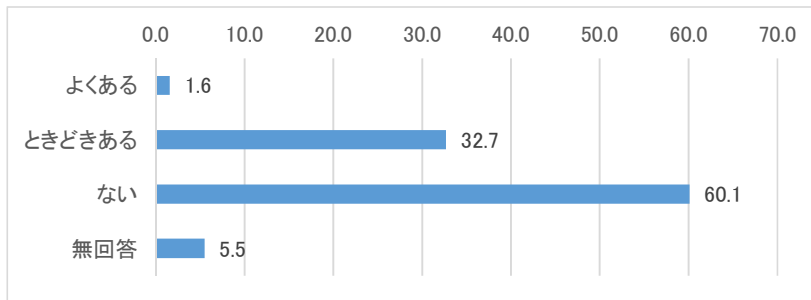
問 あなたは、LGBT(性的マイノリティ)に関することから、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)



■「差別的な言動をする」が37.4%で最も多く、次いで「トイレや更衣室などが使いにくいなど環境整備が十分でない」33.8%、「法律や条例が十分に整備されていない」31.5%の順となっています。また、「わからない」と答えた人も29.8%と多くなっています。

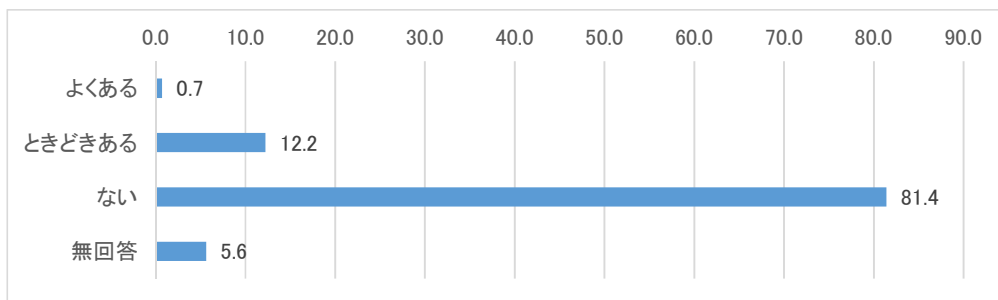
Ⅱ 人権問題について

質問 7 家庭で、人権問題について話しあうことがありますか。(○は1つ)



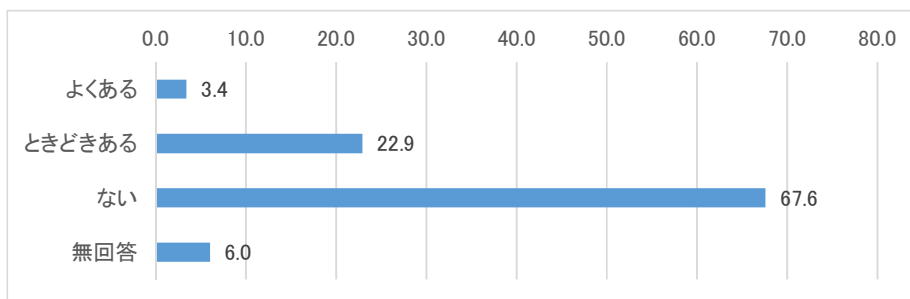
■家庭で、人権問題について話しあう機会は「よくある」「ときどきある」を合わせて34.3%と、前回調査(37.9%)より少し減少しています。また、6割の人が「ない」と答えています。

質問 8 地域で、人権問題について話しあうことがありますか。(○は1つ)



■地域で、人権問題について話しあう機会は「よくある」「ときどきある」を合わせて12.9%と、前回調査(19.0%)より減少しています。また、8割以上の人が「ない」と答えています。

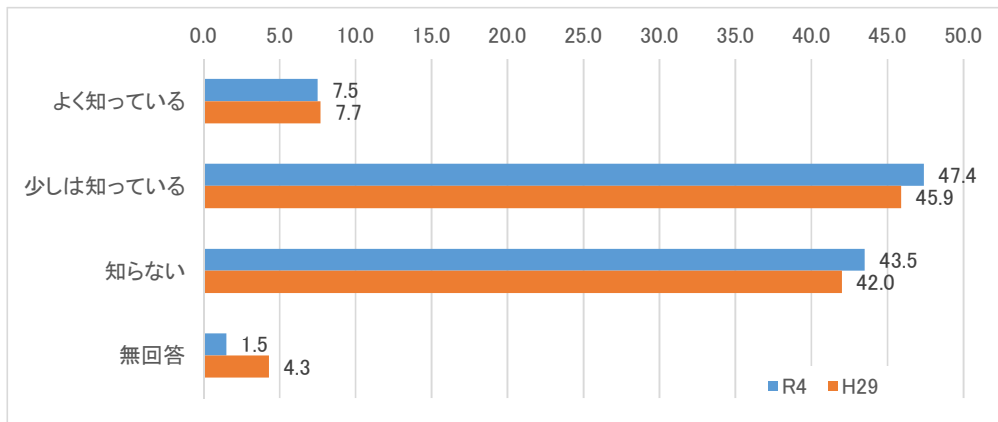
質問 9 職場で、人権問題について話しあうことがありますか。(○は1つ)



■職場で、人権問題について話しあう機会は「よくある」「ときどきある」を合わせて26.3%と、前回調査(28.7%)より少し減少しています。また、2/3以上の人が「ない」と答えています。

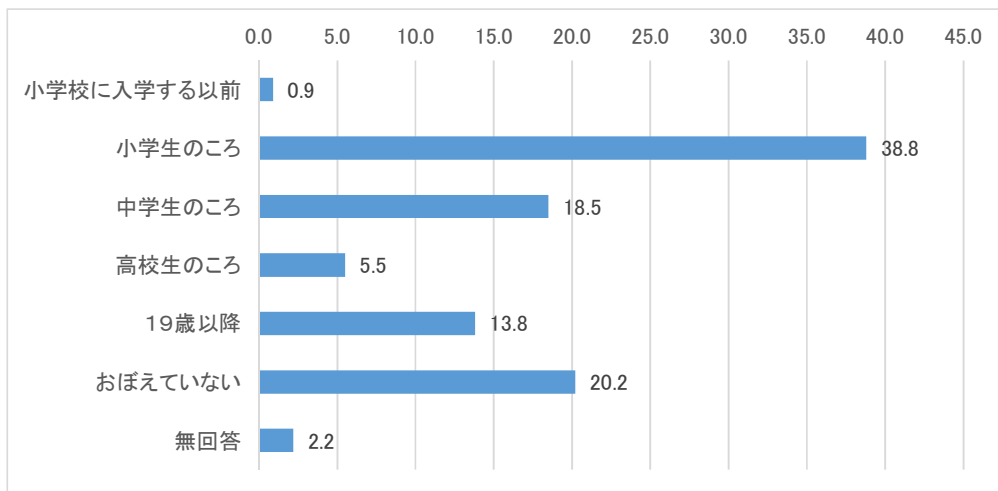
Ⅲ 同和問題について

質問10 あなたは、被差別部落(同和地区)に生まれそこに住む人たちや出身の人たちが、今でも差別を受けていることを知っていますか。(〇は1つ)



■同和問題について「よく知っている」「少しは知っている」を合わせて54.9%、また「知らない」と答えた人が43.5%で、前回調査(53.6%、42.0%)とあまり変化はありません。年齢別でみると「知らない」と答えた人は、30歳代が最も多く54.4%でした。

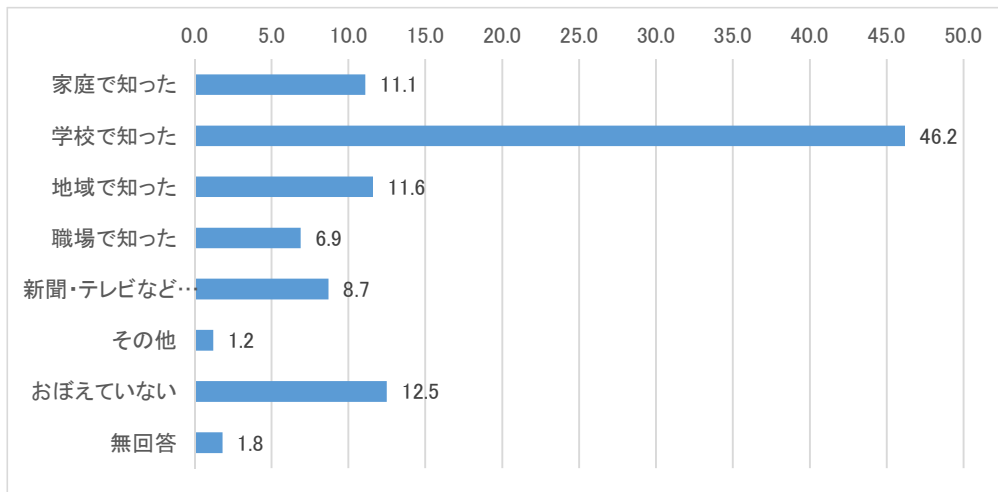
質問11 あなたが、同和問題についてはじめて知ったのは、いつごろのことですか。(〇は1つ)



■同和問題をはじめて知ったのは「小学生のころ」が38.8%で最も多く、次いで「中学生のころ」が18.5%となっており、小中学校における人権・同和教育の成果と考えられます。

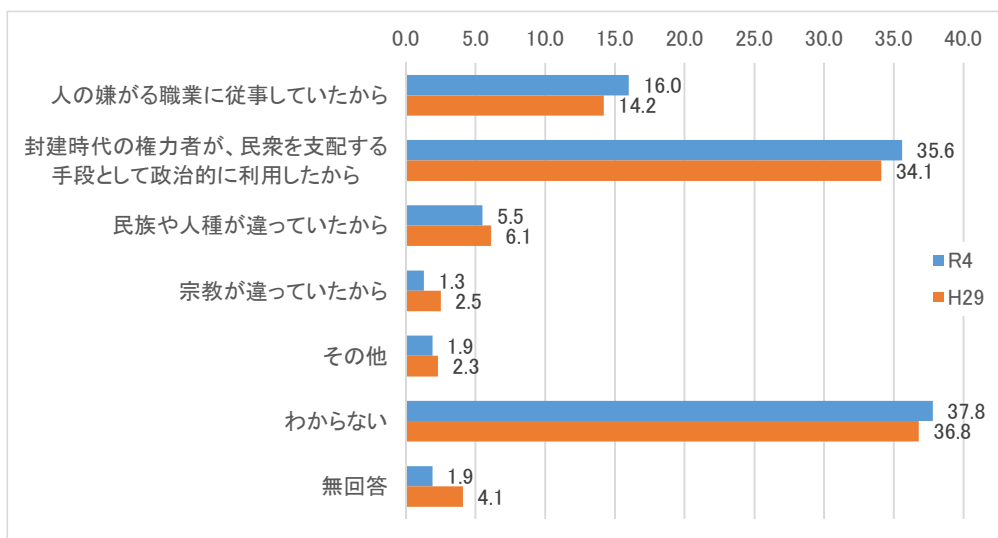
Ⅲ 同和問題について

質問12 あなたが、同和問題についてはじめて知ったきっかけは、次のうちどれですか。
(○は1つ)



■同和問題についてはじめて知ったきっかけは「学校で知った」が46.2%で最も多く、次いで地域、家庭の順となっています。

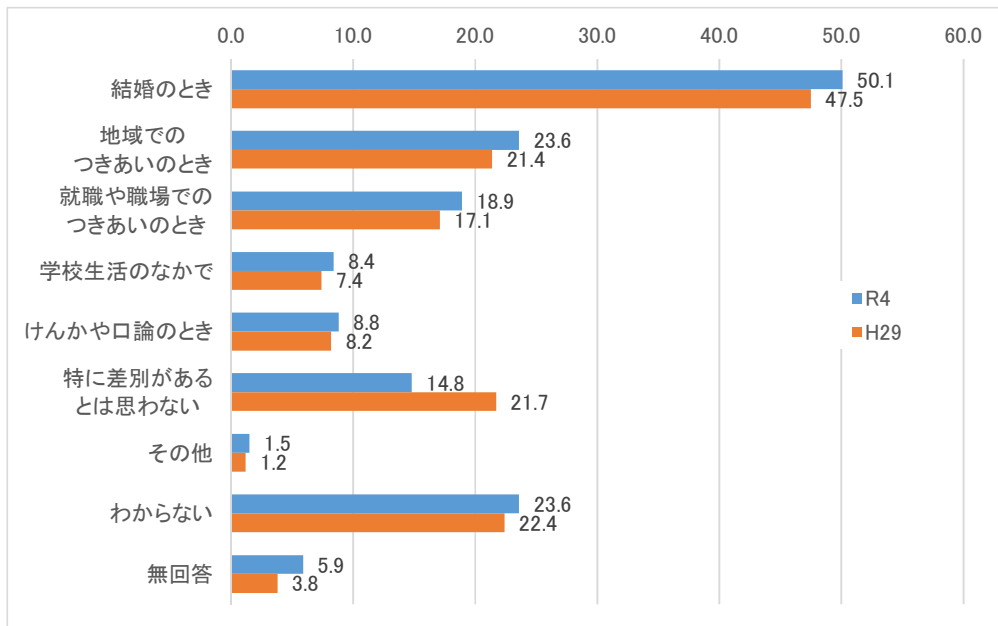
質問13 あなたは、被差別部落出身の人は、どうして差別されるようになったと思いますか。
(○は1つ)



■「わからない」と答えた人が37.8%と最も多く、次いで「政治的に利用した」が35.6%、「人の嫌がる職業」が16.0%でした。研究成果により、士農工商といったピラミッド型の身分制度の図式が見直され、これまでの部落史などの捉え方が変化してきています。新しい知識の普及啓発が必要です。

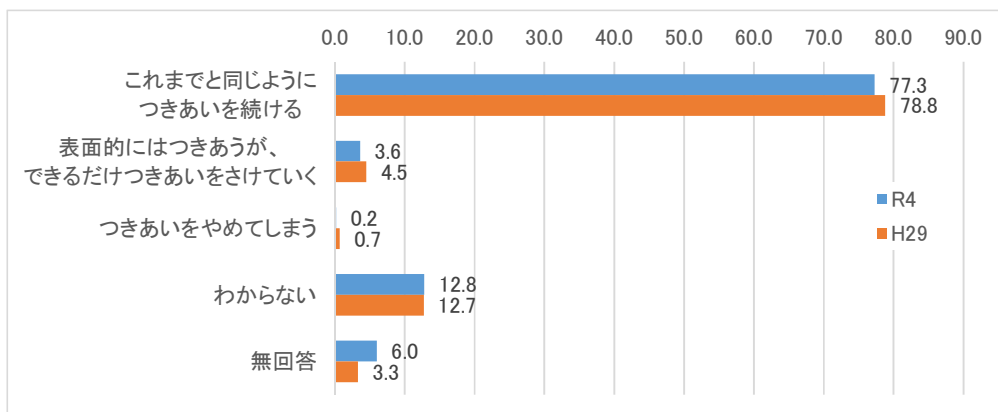
Ⅲ 同和問題について

質問14 あなたは、被差別部落出身の人は、現在、どのようなときに差別されていると思いますか。(〇はいくつでも)



■ 「結婚のとき」(50.1%)と答えた人が最も多く、次いで「地域でのつきあいのとき」(23.6%)「就職や職場でのつきあいのとき」(18.9%)の順でした。また、「特に差別があるとは思わない」と答えた人が14.8%で、前回調査(21.7%)より減少しています。

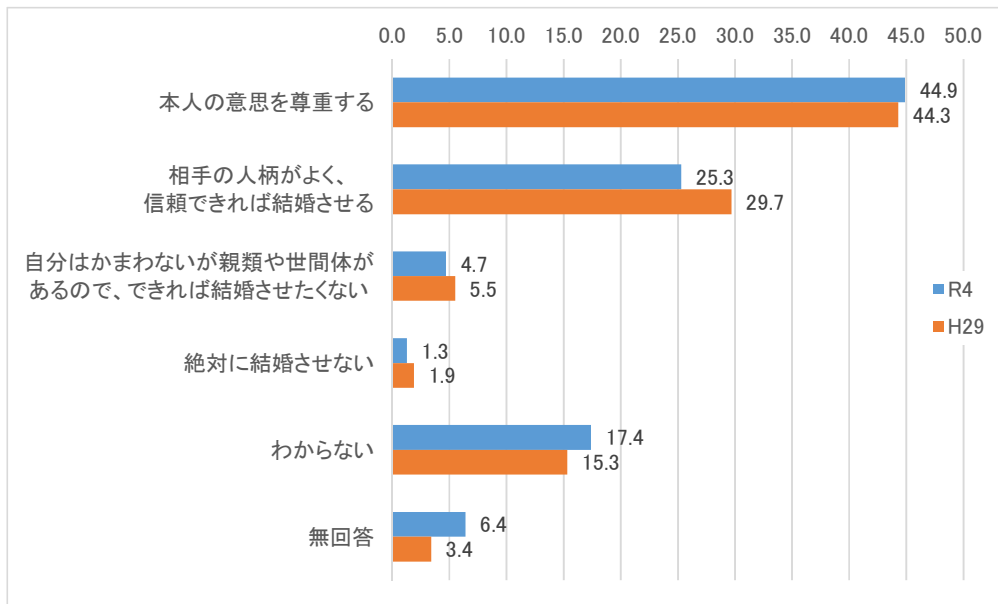
質問15 あなたが親しくつきあっている職場の人や、近所の人被差別部落出身の人であることがわかったとき、あなたはどうしますか。(〇は1つ)



■ 「これまでと同じようにつきあい続ける」と答えた人は77.3%（前回調査78.8%）で、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく」「つきあいをやめてしまう」「わからない」と答えた人の合計は16.6%（前回調査17.9%）で、前回調査と同様となっています。

Ⅲ 同和問題について

質問16 あなたのお子さんが結婚しようとしている相手が被差別部落出身の人であることがわかったとき、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

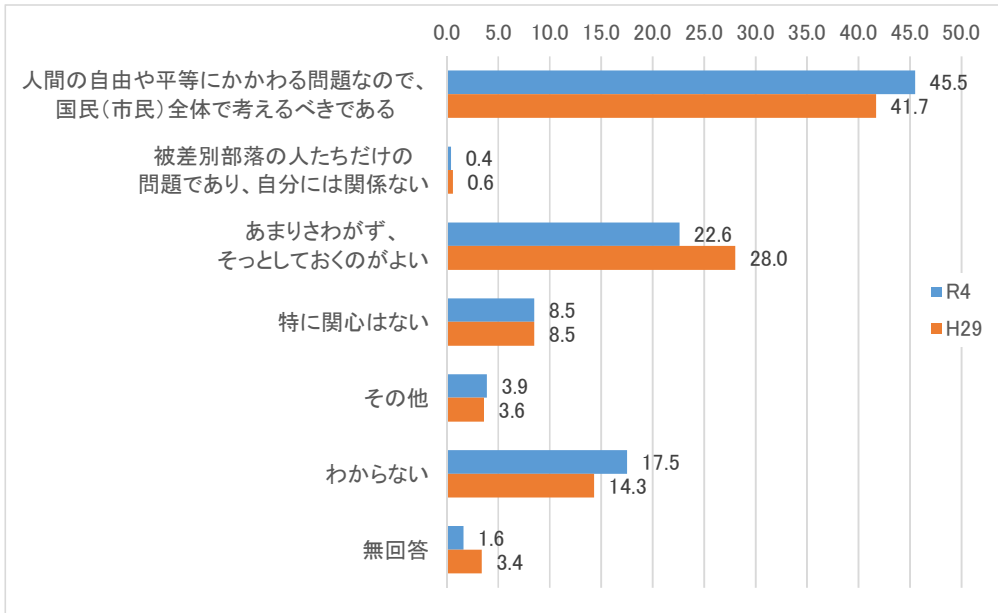


■結婚問題については、「本人の意思を尊重する」「相手の人柄がよく、信頼できれば結婚させる」を合わせて70.2%です。その一方で「自分がかまわないが親類や世間体があるので、できれば結婚させたくない」「絶対に結婚させたくない」を合わせると6.0%です。また「わからない」と答えた人と「無回答」を合わせると23.8%です。



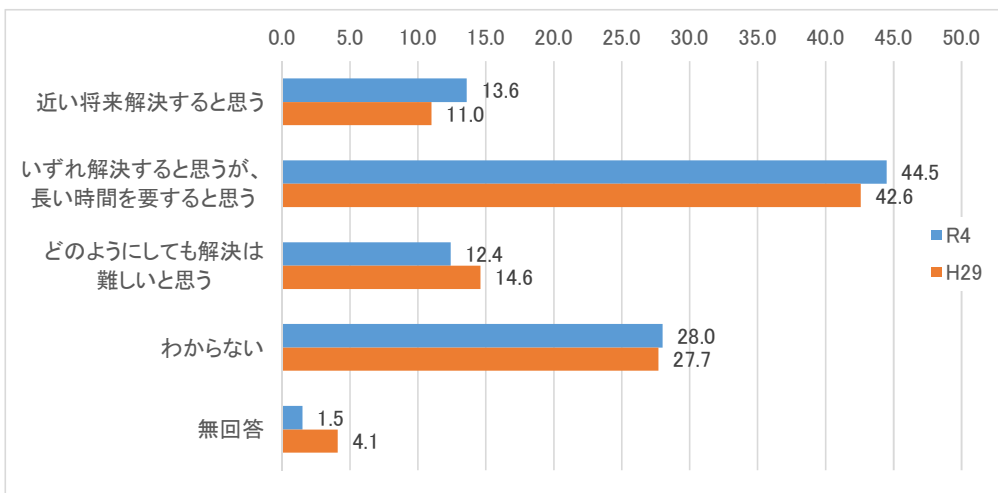
IV 同和問題の解決について

質問17 同和問題について、あなたはどうお考えですか。(○は1つ)



■「人間の自由や平等にかかわる問題なので、国民(市民)全体で考えるべき」と答えた人が45.5%で、前回調査(41.7%)から増加しており、「あまりさわがず、そっとしておくのがよい」と答えた人が22.6%で、前回調査(28.0%)から減少しています。

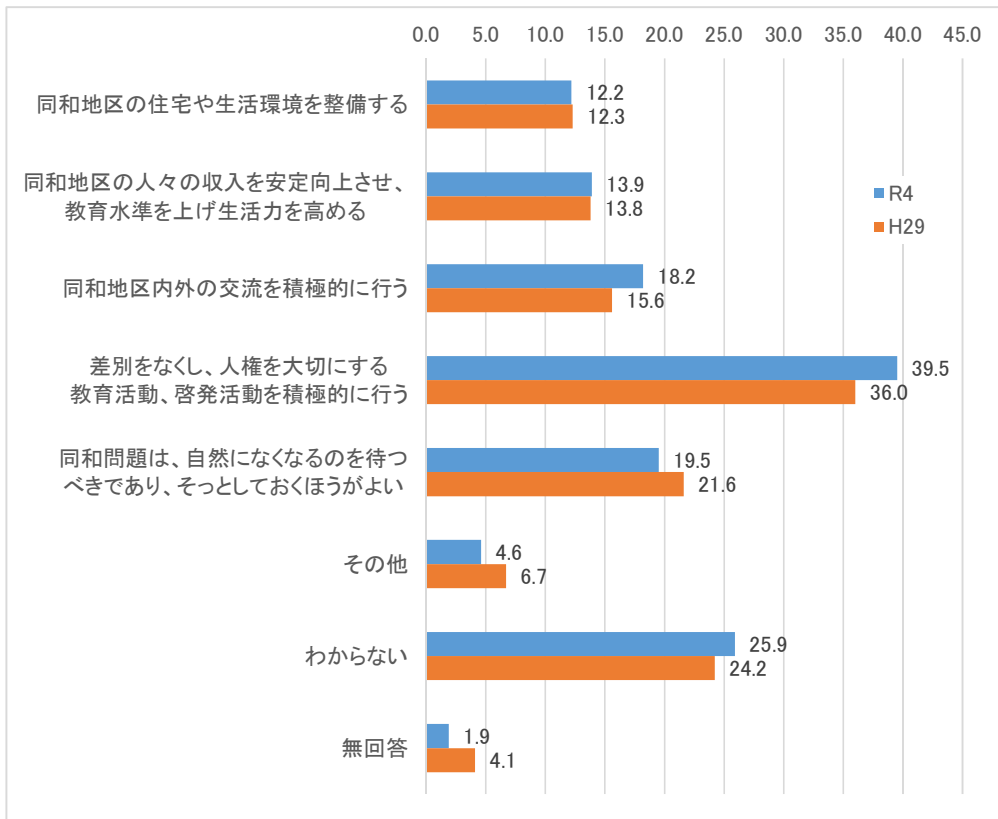
質問18 同和問題は解決すると思いますか。(○は1つ)



■「近い将来解決すると思う」「いずれ解決すると思うが、長い時間を要すると思う」を合わせると、58.1%の人が「解決できる」という回答をしています。

IV 同和問題の解決について

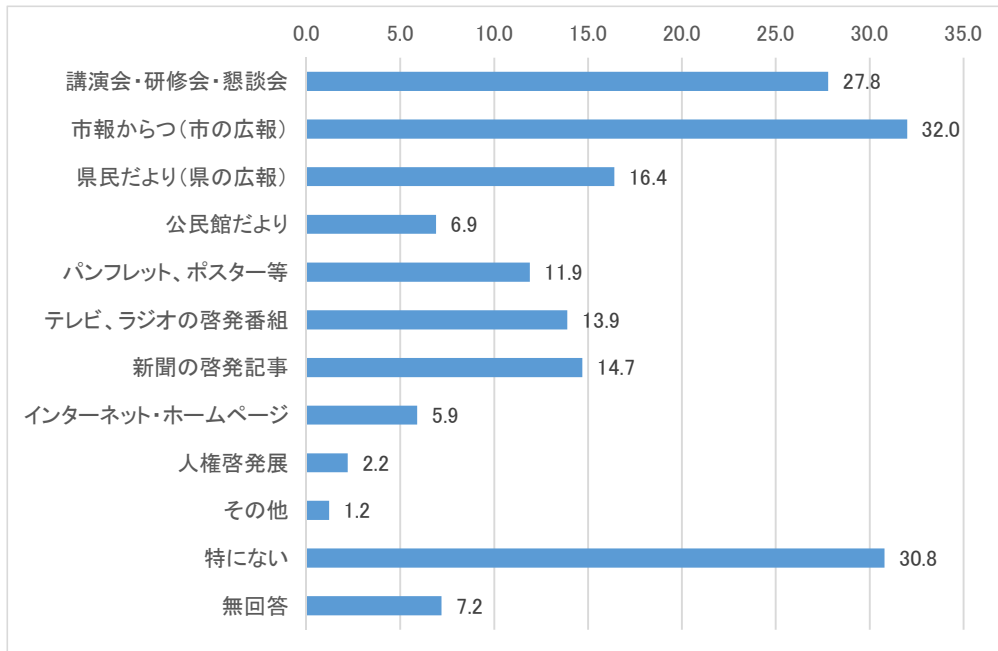
質問19 同和問題を解決するには、どうしたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)



■「教育・啓発活動を積極的に行う」と答えた人が39.5%（前回調査36.0%）で、「交流を積極的に行う」と答えた人が18.2%（前回調査15.6%）となっており、いずれも少し増加しています。一方、「そっとしておくほうがよい（寝た子を起こすな論）」と答えた人は19.5%で、前回調査（21.6%）から少し減少しています。

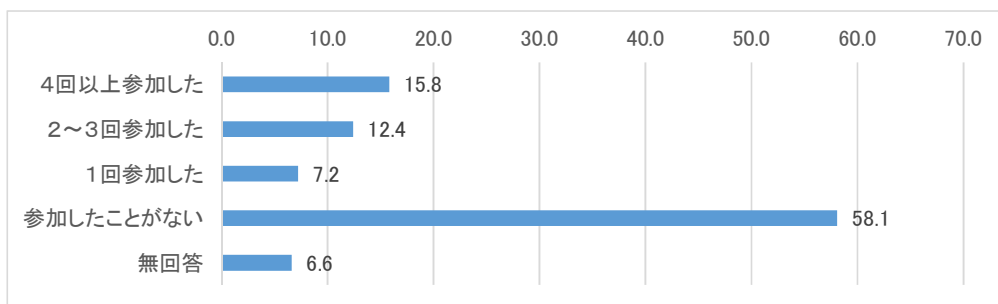
V 啓発活動について

質問20 県や市では、人権・同和問題を正しく理解していただくために、各種の啓発活動や同和教育が行われていますが、あなたが見たり、聞いたり、読んだり、参加したりしたものを選んでください。(〇はいくつでも)



■「市報からつ」が32.0%で最も多く、「講演会・研修会・懇談会」が27.8%、「県民だより」が16.4%、「新聞の啓発記事」が14.7%、「テレビ、ラジオの啓発番組」が13.9%の順となっています。「インターネット・ホームページ」が5.9%と多くはありませんが、前回調査(2.8%)の2倍以上となっており、今後この分野での啓発の在り方が重要になってくると思われます。また、「特にない」と答えた人が30.8%もあり、こういった人たちへの啓発方法の検討が必要です。

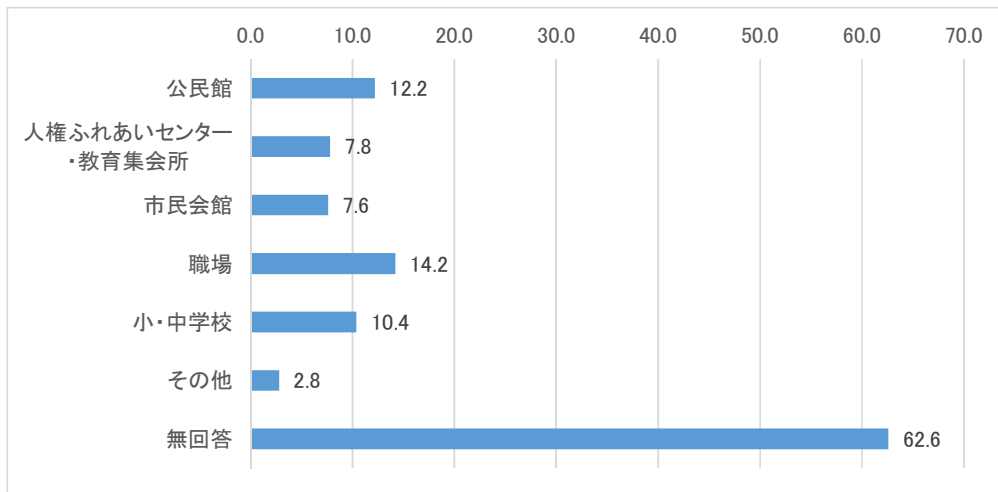
質問21 あなたは、人権・同和問題に関する研修会、講演会、懇談会等に今まで何回ぐらい参加されましたか。(〇は1つ)



■研修会等に「参加したことがない」と答えた人は58.1%もあり、若い人が多い傾向にあります。18歳~20歳代、30歳代、40歳代では、いずれも65%を超えており、特に30歳代は8割近くの人が「参加したことがない」と答えています。

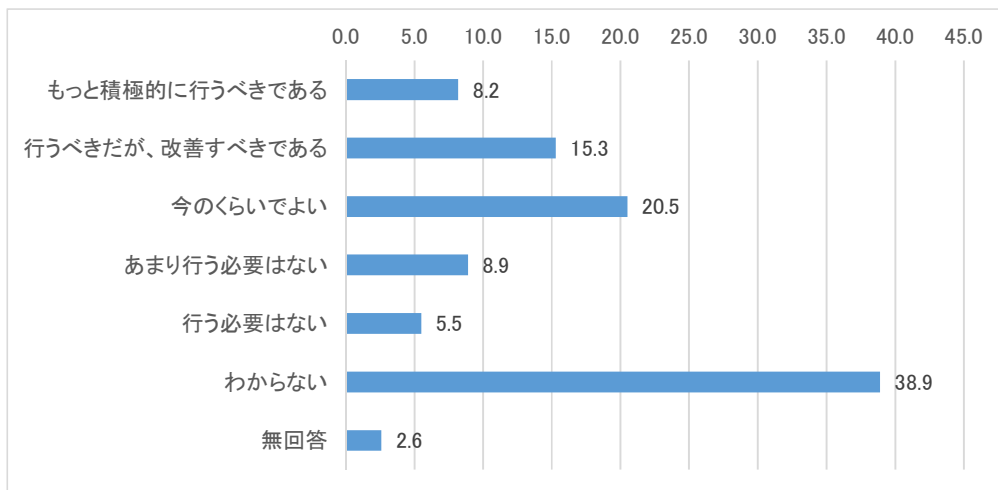
V 啓発活動について

質問22 参加したことがある人は、それぞれどんな会場ですか。参加された会場すべてを選んでください。(〇はいくつでも)



■人権・同和問題に関する研修会・講演会・懇談会等に参加した会場としては、「職場」14.2%が最も多く、次いで「公民館」12.2%、「小・中学校」10.4%の順となっています。

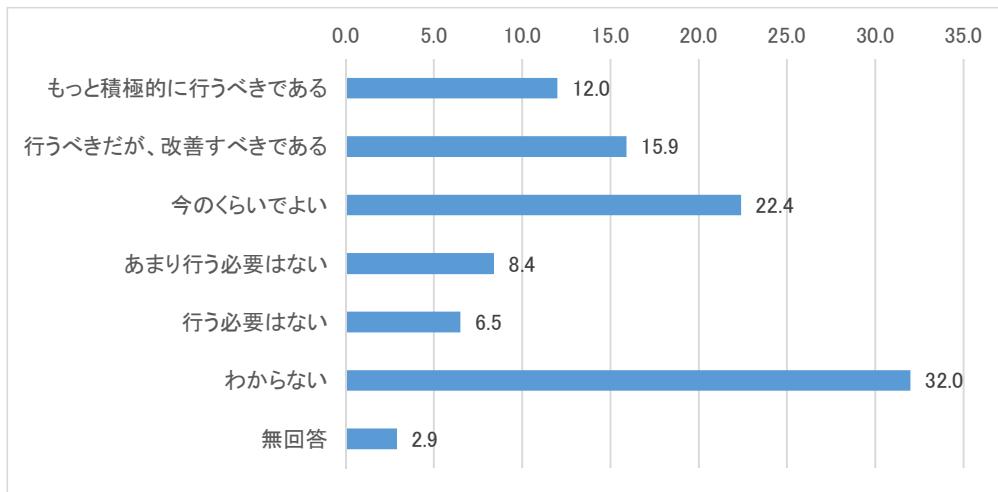
質問23 あなたは、啓発活動(研修会、講演会、懇談会、啓発映画、広報等)について、今後どのようにしたほうがよいと思いますか。(〇は1つ)



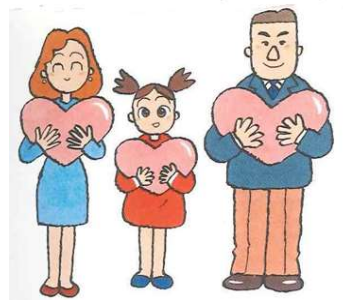
■「積極的に行うべき」「改善するべき」という意見は、合わせて23.5%です。「あまり行う必要はない」「行う必要はない」という意見は合わせて14.4%です。また「わからない」と答えた人が38.9%となっています。

V 啓発活動について

質問24 あなたは、学校での人権・同和教育について、今後どのようにしたほうがよいと思いますか。(〇は1つ)

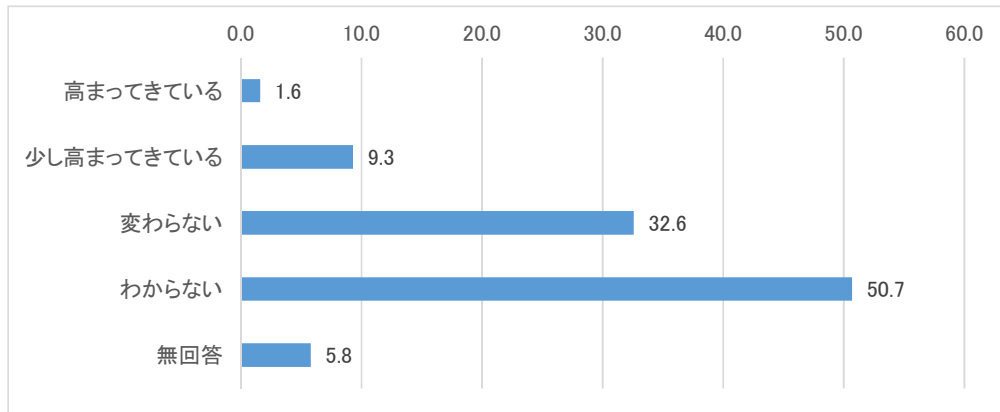


■「積極的に行う」「改善すべき」を合わせて27.9%で、前回調査(26.3%)からわずかですが増加しています。「あまり行う必要はない」と「必要ない」を合わせて14.9%で、前回調査(19.5%)から減少しています。



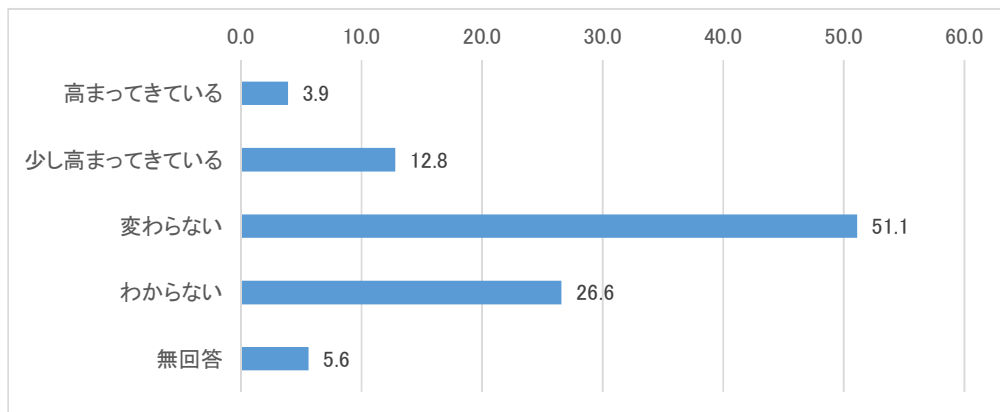
V 啓発活動について

質問25 唐津市では人権・同和問題について各種啓発を行っています。あなたは人権意識についてどう思いますか。(〇は1つ)
《ア》唐津市において(〇は1つ)



■市民の人権意識が「高まってきている」「少し高まってきている」と答えた人は10.9%で、前回調査(12.1%)より減少しています。一方で、「変わらない」と答えた人は32.6%で、前回調査(30.5%)より増加しています。

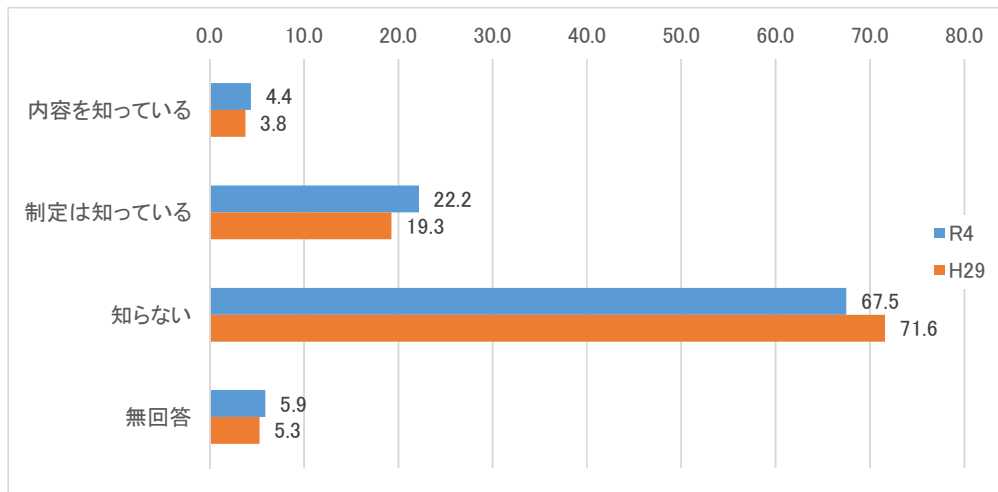
《イ》あなた自身について(〇は1つ)



■自分の人権意識が「高まってきている」「少し高まってきている」と答えた人は16.7%で、前回調査(18.1%)より減少しています。一方で、「変わらない」と答えた人は51.1%で、前回調査(47.3%)より増加しています。

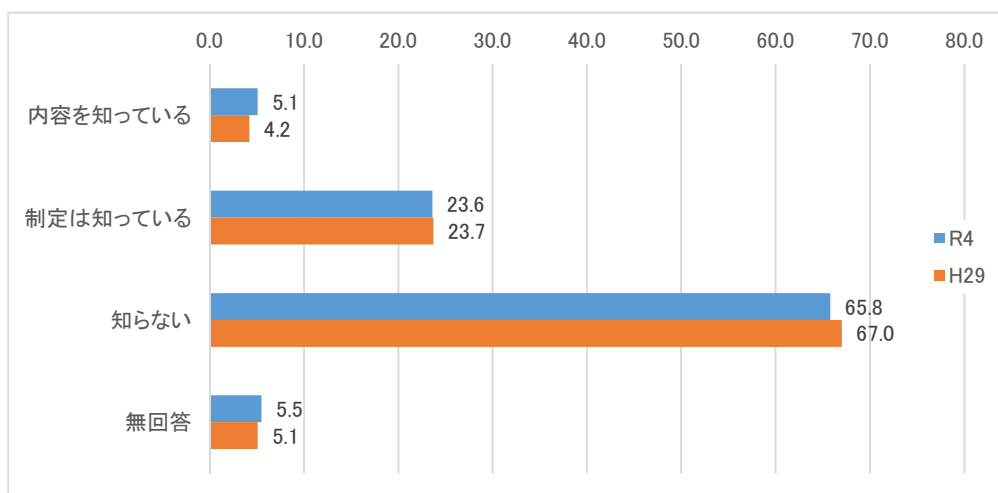
V 啓発活動について

質問26 平成28年4月に、障害者を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)が施行されましたが、知っていますか。(〇は1つ)



■「内容を知っている」、「制定は知っている」と答えた人は、合わせて26.6%で、前回調査(23.1%)から少し増加しましたが、「知らない」と答えた人が67.5%いました。

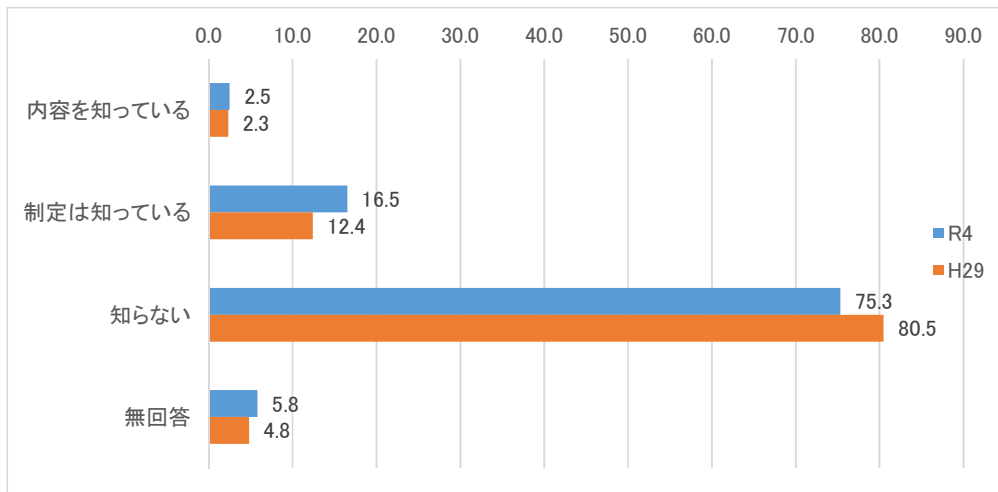
質問27 平成28年6月に、本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律(ヘイトスピーチ解消法)が施行されましたが、知っていますか。(〇は1つ) ※「本邦外出身者」とは、「日本国以外の出身者」ということです。



■「内容を知っている」、「制定は知っている」と答えた人は、合わせて28.7%で、前回調査(27.9%)からわずかながら増加しました。「知らない」と答えた人が65.8%いました。

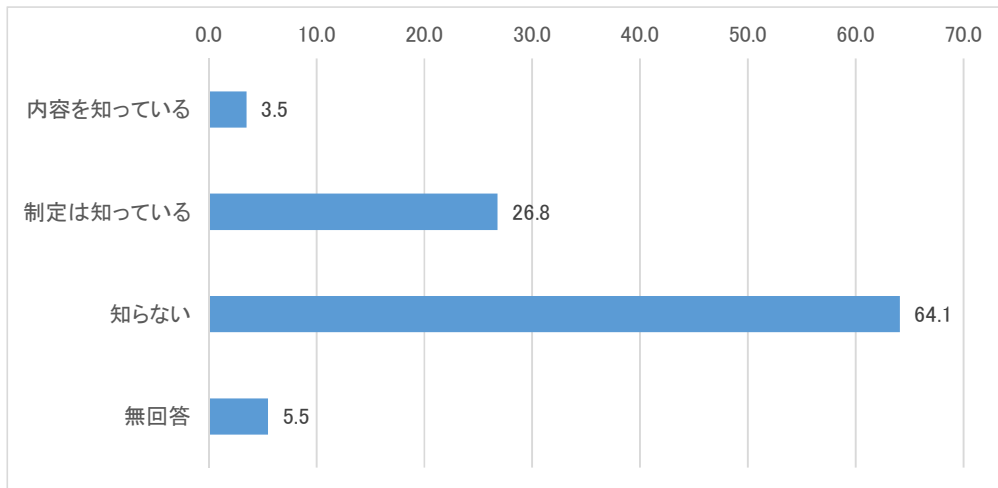
V 啓発活動について

質問28 平成28年12月に、部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)が施行されましたが、知っていますか。(〇は1つ)



■「内容を知っている」、「制定は知っている」と答えた人は、合わせて19.0%で、前回調査(14.7%)から少し増加しましたが、「知らない」と答えた人が75.3%もあり、障害者差別解消法やヘイトスピーチ解消法と比べても、まだまだ認知度が低いと言えます。

質問29 令和3年10月に、唐津市パートナーシップ宣誓制度が開始されましたが、知っていますか。(〇は1つ)



■「内容を知っている」、「制定は知っている」と答えた人は、合わせて30.3%で、「知らない」と答えた人が64.1%でした。